



フェリス女学院同窓会演奏会

—フェリス女学院創立110周年を記念して—

1980年6月7日(土) 2:00開演
神奈川県民小ホール

主催 フェリス女学院 白菊会

ご あ い さ つ

フェリスに学んだ者にとって英語と音楽は、いろいろな思い出を、よみがえらせてくれるよすがとなっています。今年母校は創立110周年を迎えました。音楽会はこれを記念するのに最もふさわしい催しではないかと考えました。第一線で活躍している卒業生の音楽家達を中心に先生方の御援助を頂いて、次のようなプログラムとなりました。

土曜日の午後のひとときを、佳い音楽を楽しんでいただきたいと思います。

白菊会会長 市川千恵

■ 出演者プロフィール

草間 美也子 オルガン

フェリス女学院短大音楽科及び専攻科卒業。オルガンを奥田耕天、ピアノを大島正泰、手塚敏子、小林道夫の諸氏に師事。1970年万博記念オルガンコンクールに最高位入賞。1973年西独ケルンに留学、ミヒャエル・シュナイダーに師事。帰国後はバッハのコンタータ、受難曲、オラトリオ等をはじめ宗教曲を主にしてオーケストラとの協演、多くのリサイタル、放送、レコーディング等を行っている。銀座教会オルガニスト。

水野 しのぶ リコーダー

フェリス女学院中・高等部を経て、東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。大宮真琴氏に師事。ガート著「ピアノ演奏のテクニク」の翻訳、ユニバーサル社出版「ウィーン原典版」の邦訳等に携わる。リコーダーは近年はじめ、大竹尚之氏に師事。演奏と共に、指導の面でも活躍している。

大竹 尚之 リコーダー

早稲田大学卒業。リコーダーを多田逸郎氏に師事。オランダ王立音楽院においてF・ブリュッヘン、B・ヘインズ、J・ヴァン・ヴィンガーデンの諸氏に師事、リコーダーの研究を積む。1976年日本人として初めてリコーダーディプロマを得て卒業し帰国。その後はソリスト、アンサンブルでの数多くの演奏会、また教育者として幅広い活躍をしている。東京音楽大学、フェリス女学院短大音楽科各講師。プロ・ムジクス神奈川同人。

神戸 愉樹美 ヴィオラ・ダ・ガンバ

フェリス女学院中・高等部を経て、同校短大音楽科及び専攻科卒業。ヴァイオリンを久保田良作、ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成の各氏に師事。1971年スイス、バーゼル音楽院スコラ・カントルムに留学、ガンバをHL・ミュラーに、アンサンブルをH.M.リンデの各氏に師事。その後オランダ、ハーグ王立音楽院に留学、ガンバをW.コイッケン、バロックヴァイオリンをS.コイッケンの両氏に師事、1976年帰国。国立音楽大学、フェリス女学院短大音楽科各講師。プロ・ムジクス神奈川同人。

新倉 好子 チェンバロ

フェリス女学院中・高等部を経て、同校短大音楽科卒業。1972年渡欧しパリでアンヌ・マリー・ベッケンシュタイナーに師事。1974年ベルギー、アントワープ王立音楽院クラヴサン科入学。ジョス・ファン・インメルセルに師事、クラヴサン奏法、通奏低音法、調律法等を学ぶ。1976年ブルミエブリのディプロムを得て卒業。帰国後はチェンバロ及びヴァージナルでの独奏会、また古楽器との協演を数多く行っている。

四 家 ひとみ ソプラノ

フェリス女学院中・高等部を経て、青山学院大学卒業。ヨセフ・モルナール、ベティー・ハドソン両氏に師事。1968年渡欧しウィーン国立音楽大学教会音楽科に学ぶ。発声法、指揮法をDr.H.ギレスベルガー（ウィーン少年合唱団総監督）に師事。一時帰国し1972年再度渡欧し、リート、オラトリオ唱法をロベルト・ショルム教授に師事、同校教育学部声楽科を優等で卒業。声楽教師国家試験合格。放送、テレビ、ミサ及びコンサートに幅広く活躍し帰国。

村 井 はるみ メゾソプラノ

フェリス女学院中・高等部を経て、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。毎日新聞社主催第24回学生音楽コンクール声楽部門に第一位入賞。石渡日出夫、坂本美智子、平原寿恵子、R.リッチ、三石暁美の諸氏に師事。現在、フェリス女学院中・高等部講師。

渡 辺 明 バリトン

東京芸術大学卒業、同大学院修了。中山悌一氏に師事。1968年西独DAAD留学生として国立ベルリン音楽大学に留学、首席卒業。在独中、ドイツ現代歌曲の演奏で絶賛を浴びる。帰国後は主としてリート、オラトリオのソリストとして数多く活躍している。昨秋パリでシューベルトの「冬の旅」全曲による日本人としての史上はじめてのリーダーイベントを行い、パリの有力紙に絶賛されテレビ、ラジオにも出演、ドイツリートのスペシャリストとして世界に一步をしるしている。二期会会員、フェリス女学院短大音楽科助教授。

岩 井 周 子 ピアノ

フェリス女学院中・高等部を経て、同校短大音楽科、専攻科及び研究科を今春卒業。ピアノを河野元氏に師事。読売新聞社、横浜市、県立音楽堂各主催による新人演奏会に出演。昨年夏ザルツブルグ、モーツァルテウム夏期講習会に参加。現在フェリス女学院短大音楽科助手。

辛 島 曜 子 ピアノ

フェリス女学院中・高等部を経て、東京芸術大学ピアノ科及び専攻科卒業。在学中、東京芸大オーケストラとの協演を行い、また安宅賞を受ける。豊増昇、永井進、ジョン・ハントの各氏に師事。1963年第一生命音楽鑑賞会で二台のピアノによるリサイタルを開催。1965年ベルリン音楽大学に留学、ゲルハルト・ブッフヘルト氏に師事。同校卒業し、帰国後はご主人の辛島輝治氏（東京芸大講師）と二台のピアノによる演奏会、協奏曲、連弾、また伴奏等の分野で活躍している。フェリス女学院短大音楽科講師。

神 西 敦 子 ピアノ

フェリス女学院中・高等部を経て、東京芸術大学ピアノ科及び専攻科卒業。在学中にも東京フィルハーモニー交響楽団と協演、卒業後ヤマハホールにてデビュー・リサイタルを開く。永井進、園田高弘の両氏に師事。1961年渡独しベルリン音楽大学に入学、ヘルムート・ロロフ教授に師事。在学中、ベルリン交響楽団との協演、イギリス、アイルランド、スコットランド等ヨーロッパ各地への演奏旅行を行い同大学卒業。帰国後はNHKテレビリサイタル、各オーケストラとの協演、レコード録音等大いに活躍している。

プ ロ グ ラ ム

■ オルガン独奏

- J.S.バッハ ファンタジーとフーガ ト短調 BWV 542
オルガン 草間美也子

■ 古楽器によるバロック音楽

- G.ケラー トリオ ソナタ ハ長調
• J.S.バッハ ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ ニ長調 BWV 1028
• J.J.クヴァンツ トリオ ソナタ ト長調 K.46
リコーダー 水野しのぶ・大竹 尚之
ヴィオラ・ダ・ガンバ 神戸愉樹美
チェンバロ 新倉 好子

— 休 憩 —

■ オペラのアリアと重唱

- モーツァルト 「フィガロの結婚」より 恋とはどんなものかしら
• ロッシーニ 2ひきの愉快的な猫のうた
• モーツァルト 「ドン・ジョヴァンニ」より 恋人よさあこの薬で
• モーツァルト 「魔笛」より パパゲーナとパパゲーノの二重唱
• ワーグナー 「タンホイザー」より 夕星の歌
ソプラノ 四家ひとみ
メゾソプラノ 村井はるみ
バリトン 渡 辺 明
ピアノ 岩井 周子

■ 二台のピアノ演奏

- モーツァルト ラルゲットとアレグロ 変ホ長調
• ラフマニノフ 「組曲」Op. 17より 1.ロマンス 2.ワルツ
ピアノ 辛島 曜子・神西 敦子

